

ハンセン病家族訴訟熊本地裁判決
(2019年6月28日)



講演会 ハンセン病問題と 弁護士の社会的使命

～ハンセン病裁判を闘った弁護士たち～

【日時】 2020年1月25日(土)

13時30分～15時(13時開場)

【会場】 国立ハンセン病資料館
映像ホール

※入場無料(事前申し込み不要、先着140名)

講師 赤沼 康弘 弁護士
ハンセン病国賠訴訟東日本弁護団事務局長
ハンセン病家族訴訟弁護団

1977年東京弁護士会登録
東京3弁護士会ハンセン病問題協議会委員
国立ハンセン病資料館運営委員
日本成年後見法学会副理事長
東京社会福祉士会理事
共編著『成年後見制度-法の理論と実務』
(有斐閣) ほか多数

ハンセン病問題にかかわりをもつ職業の方をお招きする「職業シリーズ」講演会第4弾です。今回は、ハンセン病国賠訴訟とハンセン病家族訴訟弁護団の一員として原告勝訴に貢献された赤沼康弘弁護士をお招きします。ハンセン病問題についてのお話のほかに、ご自身が弁護士を志したきっかけや仕事のやりがいなどについてもお話ししていただきます。